

# Club BUSINESS FARMERS

## CONTENTS

定例セミナー第2弾！

9月の活動報告

企画・提案

スケジュール／会員募集

10月の活動予定

ご案内／セミナー参加申込書

Vol.2 2007年10月1日発行

■発行・編集／(株)農業技術通信社『農業経営者』読者の会事務局（担当：長谷川）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-18-25 康洋ビル9F TEL 03-3360-2697 FAX 03-3360-2698

## 定例セミナー第2弾！

### 「君は安全・安心をどう語るか？」

9月21日、東京ミッドタウンで定例セミナー第2弾を開催！ 都心を一望する会場は、120席がすっかり埋まる盛況ぶりだった。

今回のセミナーでは、食や農に関わる現場で顧客に自社製品の安全・安心をどう伝えるべきかに焦点をあてた。

第1部は(株)リテラシーの西澤真理子氏が、リスクコミュニケーションについて講演。BSEやGM作物へのイメージの論調が消費者にリスクのイメージを作ってきた事例を紹介。その背景には消費者団体などの声がメディアに載りやすいだけでなく、記者の知識不足もあると分析。リスク社会が到来し



6名のパネリストが、自身の事業や活動から、安全・安心に関する取組みを述べた。

た現状を解説した。また、一度できたイメージは消えないことを指摘し、生産者や食品業界が情報を発信するコミュニケーションの大切さを訴えた。

第2部は6名のパネリストが、自身の事業や活動から、食の安全・安心に関する取組みを述べた。

シンジェンタシード(株)の坂本智美氏は、農薬やGM作物など、リスクのある商品を扱う事業者として、ユーザーが納得できる説明のありかたに言及した。生活協同組合コープこうべ参加の伊藤潤子氏は、そもそも私達が食べている食品はそんなに危険なのか、という問いから始めて、安全の知識や安心を得るための啓蒙活動を、消費者団体として取り組み始めたと説明した。



中司の(株)リテラシー代表取締役社長 西澤真理子氏

(株)東地区昔がえりの会代表取締役社長

長の小暮都夫氏は、同社での取組みを紹介。生産者情報を開示するだけでなく、生産者に自己責任の感覚を根付かせることが大切だという。イーサポーターリンク(株)取締役社長の堀内信介氏は、今後の農産物流通の動向として、生産者がGAP取得など安全性対策をしていることが、取引の最低条件としてますます重要になっていくであろうとコメントした。

### 「安心」を勝ち取るには？

「顧客に安全性を十分に伝え、安心を勝ち取るにはどうすればいいのか？」という問いには、各パネリストとも「顧客とのコミュニケーションの積み重ねが大事」で意見が一致。

(株)フードスコープ常務取締役の坂井健悟氏は外食産業の役割として「外食ではお客様に対して、安全さと美味しさという2つの軸がある。実際にはこの2つは関係が深い。美味しさを切り口にして、安全を語っていければと思う」と意気込みを述べた。

質疑応答では、生産者やメディア関係者が発言。ある大手新聞社の論議委員は、メディアは消費者団体などの意見を載せやすい現状を認めつつ、食農業界の情報発信力が弱いことを指摘。もし誤報があったなら、積極的に正しい情報を語ってほしいと訴えた。

## 9月の活動報告

## 「食」のトレンドツアー in 東京

今どのような「食」が流行っているのか？読者を農援隊・後藤芳宏がご案内！

都内各地のイケてる「食」の現場を食べ歩き、今どんな「食」が流行っているのかを体験するのが、今回のツアーの目的。朝8時に集合した一行は、まず新宿・歌舞伎町へ。マクドナルドが新コンセプトで展開しているマック・カフェで朝食をとりつつ自己紹介、ツアーの説明を受ける。

歓楽街をぬけて、JR新宿駅の駅ナカへ。土曜の朝8時40分だというのに、老いも若きも女性がひっきりなしに立ち止まる一角が！(株)ロックフィール



「なぜこんな行列ができるのか、わかります？」ツアーガイドの後藤氏が、人気店の秘訣を解説。



「野菜を野菜として売るのこのとまでは面白くない、というファンは実感」(有)カンファーム代表取締役 新堀健二さん

下の惣菜カフェ「RF+」だ。サラダや惣菜をテイクアウトするだけでなく、揚げたての各種コロッケ、野菜ジュースをイートインできる。

駅を出ると、まだ9時20分だというのに、50人近い人々が行列している。

「クリスピー・クリーム・ドーナツ」新宿サザンテラス店だ。ガイドの後藤氏がすかさず問題提起する。

「ドーナツは他にもあるのに、なぜ行列ができるのかわかります？」

続いて新宿タカシマヤと伊勢丹新宿店の、生鮮食品売場と惣菜売場へ。今回は特に、中食売場にテーマを絞って観察。各店の販売・マーケティング戦略を後藤氏が解説する。

60種類のサラダバーのある東京ドームホテル内のレストラン「シズラー」

で昼食、池袋へ移動。土曜の午後2時、戦場のような東武百貨店と西武百貨店の中食売場を視察する。巣鴨に移動し、創作漬物「河村屋」へ。ツアーは創業170年の企業の新しいトレンドをみて締めくくった。「食」のトレンドツアー、今回は10月13日開催！

## 企画・提案

作物別に全国から有志メンバーが集い  
中身の濃い情報交換ができる場に！

金子正さん(新潟県新潟市)



「飲食店や惣菜店の見どころ解説が、勉強になりました」トキタ種苗(株)開発普及室 丹伊田千恵さん

『農業経営者』の読者は、各地で独立自尊の経営をする生産者が多いかと思う。旧来の技術や流通から発想を転換し、他人がやらないようなことに取り組んだ結果、経営発展を実現しているっしやることだろう。

一方、新しいことにチャレンジする人は地元では変人扱いされ、足を引っ張られることも多い。せっかく良いことをやっても、孤軍奮闘せざるを得ないのもまた現実だ。

そうしたなか、地元ばかりには本場の情報は入ってこない。発想も広がらない。逆に目的を持つ人は動き回り、そして動いただけ結果が出ている。「読者の会」には、こうした事業目的に向かって行動している「作物別の全国経営者ネットワーク」になって欲しい。

い。全国という点では、地域のしがらみを越えて、経営者同士が互いに尊敬しあい、学ぶ姿勢を持てる。

自分は和ナシ、洋ナシ、ブドウ、イチジクなど果樹がメインなので、他県の先進的な果樹経営者と課題や方向性について意見交換をしていきたい。経営目目が近ければ共通点も多く、中身の濃い交流が図っていける。他産地の天候や生育状況について情報をやりとりできるだけでも、ビジネス面で相互メリットが見出せるはずだ。

まずは、作物別の「読者の会」のメンバーが集まる「会合」を開いてもらいたい。他の読者からも意見を聞き、どんな会にしていくのかビジョンを描いていく作業が必要だ。

★企画・提案お待ちしております。



**11/9 金** 会場/株農業技術通信社内セミナー会場 開催時間/16:00~18:00

## 「コメ価格暴落後の日本の水田経営」【講師】土門剛氏 農業評論家

全農による「コメ仮渡金7000円」という発表は、農協界のベルリンの壁がついに壊れたことを示す象徴的の事件だった。「土門辛聞」でおなじみの同氏が今後のコメ生産・流通の展開、そして同時に破綻していくと思われる生産調整の今後について解説する。



**11/25 木** 会場/株農業技術通信社内セミナー会場 開催時間/16:00~18:00

## 「サイレージ生産を核に畑輪作体系1000haを目指す」【講師】坂上隆氏 南坂上芝園 専務取締役

鹿児島県・志布志に分散する平均20aの畑で、同氏は加工バレイショと青汁原料のケールを生産している。また、畜産地帯での新しいビジネスとして、家畜糞尿の受け入れを複合したコーンサイレージ生産を行ない、1000haの経営を目指している。輪作による土作りも含めた、同氏の新たな事業を聞く。



**12/14 金** 会場/株農業技術通信社内セミナー会場 開催時間/16:00~18:00

## 「戦後農政を総括する」【講師】大泉一貫氏 宮城大学大学院教授

平成14年に発表された米政策改革大綱に伴う施策が進んでいる。それは昭和46年以来の政府管理の米政策を市場の原理にゆだねる道筋であり、日本農業の未来のために避けて通れぬ改革であった。聖域化されてきた米農業を振り返ることのできる日本農業を考える。



**12/21 金** 会場/株農業技術通信社内セミナー会場 開催時間/16:00~18:00

## 「自宅から3km圏・地続き90haの水田経営」【講師】田中正保氏 南田中農場 社長

同氏は自宅から地続き3kmの範囲で、約90haの耕作地を確保している。また、その米や大豆、その他作物は、業務筋や個人家庭に高値で販売されている。しかも、春の播種時期にはほとんど注文を得ている形で農業経営を行っている。そんな田中氏の経営を語っていただく。

## スケジュール

11~12月には、上記セミナーを開催します。商談会への出席、海外視察ツアーも鋭意企画！『農業経営者』07年11月号93~95ページの広告もご覧下さい。

### 【参加申込について】

- セミナーに参加される方は、あらかじめFAXにて予約をお願いします。次ページの申込書をご利用ください。
- その他の参加申込は事務局までお問合せ下さい。

## 会員募集

読者の会は、『農業経営者』定期購読者の会です。次の3種類の会員で構成されています。

### ■正会員

本会の目的に賛同する法人、および個人

### ■運営会員

本会の目的に賛同し、その発展のための助言、企画、普及活動を行なうことで、会の運営に参画する正会員

### ■賛助会員

本会の目的に賛同し、その活動を支援、援助する法人、および個人

※すでに『農業経営者』を定期購読されている方は、自動的に正会員となります。特にお申込は必要ありません。

## 読者の会 問い合わせ用紙 (FAX専用 0120-410-359)

### ■ご意見・問い合わせ内容

お名前	会社名 農場名	TEL

■運営会員、賛助会員をご希望の場合は、右記にチェックしてください。  運営会員  賛助会員

# 10月の活動 **セミナー**

農業経営者や関連業界人の自己研鑽や人材育成、情報交換、人脈構築に役立つセミナーを毎月（年間20回以上予定）開催。定期購読者の方は参加費無料です。

**10/12 金**

会場/（株）農業技術通信社内セミナー会場  
時間/16:00~18:00



**「農業先進国産業論」**  
〔講師〕叶芳和氏  
（元・国民経済研究センター理事長）

PROFIL●1943年鹿児島県奄美大島生まれ。元・財団法人国民経済研究協会理事長。元・拓殖大学国際開発学部教授。現在、帝京平成大学現代ライフ部教授。著書に『農業・先進国型産業論』（日本経済新聞出版社）、『日本よ農業国家たれ』（東洋経済新報社）、『農業ルネッサンスー21世紀産業のイノベーターたちー』（講談社）など。

1982年、叶芳和氏は『農業・先進国型産業論』（日本経済新聞）を上梓した。同著は先進各国そして日本の農業を取材して、農業こそ先進国産業であり、日本もまたその例に漏れないと喝破。25年後の現在、その正しさが証明されつつある。今、あらためて同氏の先進国産業論と日本農業を展望する。

**10/25 木**

会場/（株）農業技術通信社内セミナー会場  
時間/16:00~18:00



**「私の農業、群馬に始まり青森、静岡への展開」**  
〔講師〕澤浦彰治氏  
（株野菜くらぶ代表取締役）

PROFIL●1964年群馬県生まれ。84年に就農。「らでいっしゅぼーや」との出会いをきっかけに有機・無農薬栽培を始める。92年、「野菜くらぶ」を設立。97年、モスバーガーに出荷する特別栽培野菜の契約農場第一号。その後、青森にも農場を設立し、地域を越えた農業を展開している。売上高15億円（連結）。経営面積32ha。

作物が風土の制約を受けても、経営は風土を超えて発展することで、顧客に対するより高い責任を果たす。地域に根差す原点を失わずに、地域を越えた生産ネットワークを構築してきた同氏が、その農業経営を語る。

**申込は今すぐ!!**

## ◎セミナー参加申込書 (FAX専用 0120-410-359)

■参加を希望するセミナーにして、必要事項をご記入下さい。

〈セミナー〉	〈セミナー終了後の懇親会〉	〈「食」のトレンドツアー〉
<input type="checkbox"/> 10/12 (金) 叶芳和氏	<input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00)	<input type="checkbox"/> 10/13 (土) (8:00~16:30) 参加
<input type="checkbox"/> 10/25 (木) 澤浦彰治氏	<input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00)	<input type="checkbox"/> 10/26 (金) (8:00~16:30) 参加
<input type="checkbox"/> 11/9 (金) 土門剛氏	<input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00)	<input type="checkbox"/> 11/10 (土) (8:00~16:30) 参加
<input type="checkbox"/> 11/22 (木) 坂上隆氏	<input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00)	<input type="checkbox"/> 11/23 (金) (8:00~16:30) 参加
<input type="checkbox"/> 12/14 (金) 大泉一貫氏	<input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00)	<input type="checkbox"/> 12/15 (土) (8:00~16:30) 参加
<input type="checkbox"/> 12/21 (金) 田中正保氏	<input type="checkbox"/> 参加 (18:00~20:00)	<input type="checkbox"/> 12/22 (土) (8:00~16:30) 参加

※セミナー終了後には、**懇親会**（任意参加・会費1,000円）を予定しております。翌日には都内各地のイケてる「食」を食べ歩きする**「食」のトレンドツアー**（任意参加・有料）を実施します。セミナーと併せてご参加ください。

セミナー受講料：定期購読者無料（一般5,000円）※セミナーは事前申込制です。

定期購読者（無料）     一般参加（5,000円）

1年購読18,000円（送料・税込）—この機会に年20回以上予定のセミナーに無料で参加できる「農業経営者」定期購読を申込—

お名前	会社名 農場名	TEL
E-mail		FAX
ご住所 〒		

月刊「農業経営者」**無料**定期購読者

**お申込方法**/FAX 0120-410-359まで送信してください。（農業経営者HP <http://www.farm-biz.co.jp/> からもお申込できます）  
お問合せ/（株）農業技術通信社「農業経営者」読者の会 事務局TEL 03-3360-2697

※セミナーへの無料参加は、定期購読1件につき、1名様までです。2名様以上でお申込される場合、2人目より2,000円をいただきます。予めご了承下さい。